

令和元年度

定期監査報告書

(平成30年度企業会計)

阿蘇市監査委員

目 次

企 業 会 計

1	監査の対象	1
2	監査の日程	1
3	監査の方法	1
4	監査の結果	1
《病院事業》		
	阿蘇医療センター	2
《水道事業》		
	水道課	9
5	講評・所感	13

(注 記)

- 1 本書中の数値は、単位未満四捨五入している。
- 2 単位未満四捨五入のため、計及び合計が一致しない場合がある。
- 3 「0」は、当該数値はあるが表示単位未満のものまたは、当該数値のない場合も含まれる。
- 4 「-」は、当該数値がない場合である。
- 5 「△」または「-」は数値のマイナスを表す。
- 6 構成比率(%)は、合計が100となるよう一部調整している。

(関係条文)

- ・地方自治法第199条第1項
監査委員は、普通地方公共団体の財務に関する事務の執行及び普通地方公共団体の経営に係る事業の管理を監査する。
- ・地方自治法第199条第4項
監査委員は、毎会計年度少なくとも1回以上期日を定めて第1項の規定による監査をしなければならない。
- ・地方自治法第199条第9項
監査委員は、監査の結果に関する報告を決定し、これを普通地方公共団体の議会及び長並びに関係ある教育委員会、選挙管理委員会、人事委員会若しくは公平委員会、公安委員会、労働委員会、農業委員会その他法律に基づく委員会または委員に提出し、かつ、これを公表しなければならない。

定期監査報告書

1 監査の対象

平成 30 年度公営企業阿蘇市病院事業及び水道事業における事務及び予算の執行、財産の管理等について地方自治法第 199 条第 1 項、第 2 項及び第 4 項の規定に基づき監査を実施した。

監査の実施に当たっては、監査計画及び方法に基づいた重点項目及び着眼点を設定し、各項目の事項に沿った監査を行った。

2 監査の期間

令和元年 6 月 11 日から令和元年 6 月 28 日までの間

3 監査の方法

監査にあたっては、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までににおける病院事業・水道事業に関する事務の執行状況及び経営に係る事業の管理が、適正に合理的かつ効率的に行われているか、また、予算の執行状況、物品の出納や保管の状況、財産の維持管理の状況等提出された監査資料をもとに、証憑突合等関係諸帳簿の審査、必要に応じて関係職員から事情聴取等の方法により実施した。

4 監査の結果

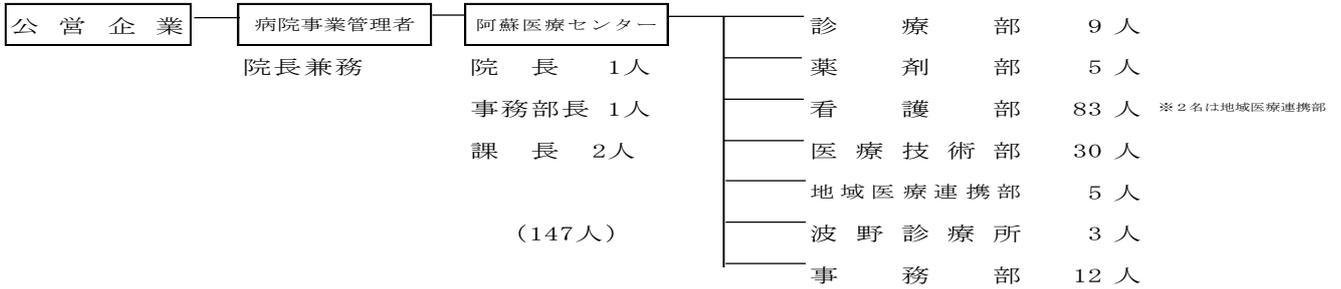
総体的には、予算の執行、その他財務に関する事務、事業は、おおむね適正に執行され、合理的かつ効率的な管理運営が行われていると認められた。

講評・所感において、改善検討を望む事項を記述したが、事務処理における軽易な事項については、その都度関係職員に対して適切な処理を講ずるよう指示したところである。今後の事務処理に十分留意し、検討善処されたい。

【阿蘇医療センター】

(1) 職員構成

平成31年3月31日現在



職種別	定員	平成29年度末現員	平成30年度末現員				
			実績	(波野診療所)	前年度増減	定員との比較	
正職員	医師（波野診療所）	15	10	9	1	△ 1	△ 6
	薬剤師	4	5	5	0	0	1
	看護師（波野診療所）	74	81	85	2	4	11
	准看護師	12	1	1	0	0	△ 11
	看護補助	6	0	0	0	0	△ 6
	社会福祉士	2	2	3	0	1	1
	診療放射線技師	4	6	6	0	0	2
	臨床検査技師	4	5	5	0	0	1
	臨床工学士	2	4	3	0	△ 1	1
	理学療法士	4	8	8	0	0	4
	作業療法士	2	4	4	0	0	2
	管理栄養士	2	3	3	0	0	1
	言語療法士	1	1	1	0	0	0
	ボイラー技士	1	2	2	0	0	1
	事務職員（波野診療所）	8	12	12	1	0	4
計	141	144	147	4	3	6	
臨時・嘱託	非常勤医師（波野診療所）	—	29	56	16	27	—
	嘱託看護師	—	13	8	0	△ 5	—
	嘱託准看護師	—	3	4	0	1	—
	嘱託臨床検査技師	—	1	1	0	0	—
	嘱託職員（波野診療所）	—	6	9	1	3	—
	臨時ボイラー技士	—	1	1	0	0	—
	非常勤歯科衛生士（波野診療所）	—	1	1	1	0	—
委託関係	医療事務	—	10	9	0	△ 1	—
	看護補助等職員	—	12	11	0	△ 1	—
	給食調理業務	—	11	12	0	1	—
	院内清掃業務	—	7	7	0	0	—
	患者送迎等用務業務	—	0	1	0	1	—
	宿日直警備職員	—	3	3	0	0	—
計		97	123	18	26		
合計		241	270	22	29		

(2) 病院のあらまし

名 称：阿蘇医療センター（旧阿蘇市国民健康保険 阿蘇中央病院）
所 在 地：阿蘇市黒川 1 2 6 6 番地
開設年月日：昭和 2 5 年 5 月 1 5 日（旧黒川村の国保直診施設として開設）
開院年月日：平成 2 6 年 8 月 6 日
敷 地 面 積：2 6, 3 3 5 m²
延 床 面 積：1 1, 2 3 0 m²（建築面積 6, 0 6 4 m²）
病 棟 （免震構造、鉄筋コンクリート 4 階建）
外来棟 （耐震構造、鉄筋コンクリート建）
中央診療棟 （免震構造、鉄筋コンクリート 2 階建）
医 師 住 宅：6 0 3 m²（RC造陸屋根、2 階建、3 棟、間取り 3 L D K）

(3) 事務事業の概要

① 平成 30 年度の主な事務事業

1. 災害医療への対応について

地域災害拠点病院として、DMAT 隊 2 チームを保有しているが、職員の異動・退職等により欠員となっている隊員の資格取得に向けた研修を受講し、DMAT 隊の機能維持を図った。

また、災害拠点病院の指定要項基準に則り「阿蘇医療センター災害対応マニュアル」を更新し、実施訓練等を実施した。

2. 平成 30 年度診療報酬改定に伴う急性期一般入院基本料への取組み

当院の一般病棟入院基本料（10：1）届出が「入院料 6」から「入院料 4」に変更する取組みを行ったことで、1 病床当たり 30 点の加点となり、年額報酬の増額が見込まれるため、今後も地域の特性や患者の病態に応じた医療機能体制の構築を図る。

3. 歯科口腔外科開設について

熊本県へき地医療拠点病院の指定を受けたことにより、歯科口腔外科開設に係る機器等への財源（補助金）の一部支援を受け、施設改修及び設備を導入し、平成 31 年 2 月から外来診療を開設することができた。

4. 耳鼻咽喉科外来診療開設への対応について

熊大病院耳鼻咽喉科からの医師派遣等の支援により、令和元年度中の開設に向け準備を行っている。

5. 病院の利用状況について

外来診療日数年間 244 日で、延べ外来患者数 53, 101 人、一日平均 217. 6 人（前年度比 4. 8 人増）、波野診療所は医科 2, 706 人、一日平均 14. 2 人（前年度比 0. 7 人減）、歯科 1, 075 人、一日平均 6. 7 人（前年度比 0. 1 人減）、延入院患者数 31, 877 人（前年度比 333 人減）、病床利用率 72. 8%（前年度比 0. 7%減）と稼働が減少しているが、診療単価では入院が 33, 072 円（前年度比 190 円増）、外来が 10, 775 円（前年度比 99 円減）となり、収益での大きな割合を占める入院単価が増額となった。

今後、更に病床利用率を上げることで収益増を図る。

その他、女性看護師の若年採用による産前・産後休暇取得者が大幅に増えていることから、看護体制（10：1）の維持と働く環境の改善への取組みを行った。

また、離職防止を図るとともに適正人数の配置を維持するため、各種ガイダンスや養成学校の勧誘訪問を行った。

病床数

区分	病棟	29年度	30年度
病床数	一般	120床	120床
	感染症	4床	4床
病床利用率		73.5%	72.8%

②事務実績の状況

病院事業の業務実績は表1のとおりで、阿蘇医療センターは平成30年度入院患者数31,877人（1日平均87.3人）、前年度32,210人（1日平均88.2人）、外来患者数53,101人（1日平均217.6人）、前年度51,923人（1日平均212.8人）で前年度に比べて、入院患者数で333人（1.0%）の減、外来患者で1,178人（2.3%）の増であった。

波野診療所は医科の患者数2,706人（1日平均14.2人）前年度2,880人で174人の減、歯科では平成30年度患者数1,075人（1日平均6.7人）前年度1,252人で177人の減となっている。特に歯科診療が平成31年1月から週4日診療から週2日に変更により、歯科外来患者が減となっている。

（表1）患者数の推移

阿蘇医療センター

（単位：人）

区分	29年度	30年度	増減	一日平均
入院	32,210	31,877	△333	87.3
外来	51,923	53,101	1,178	217.6
合計	84,133	84,978	845	

波野診療所

（単位：人）

区分	29年度	30年度	増減	一日平均
医科	2,880	2,706	△174	14.2
歯科	1,252	1,075	△177	6.7
合計	4,132	3,781	△351	

(表2) 科別患者 (阿蘇医療センター)

(単位: 人)

区分	入 院										計
	内科	外科	整形外科	小児科	脳神経外科	循環器科	神経内科	消化器外科	代謝内科	歯科口腔外科	
4月	936	0	0	1	506	468	161	210	0	0	2,282
5月	1,392	0	0	3	656	378	132	136	0	0	2,697
6月	1,198	0	0	0	539	392	173	144	0	0	2,446
7月	1,133	0	0	6	441	518	303	182	0	0	2,583
8月	1,174	0	0	10	509	368	349	189	0	0	2,599
9月	1,091	0	0	0	332	499	390	188	0	0	2,500
10月	1,311	0	0	0	493	609	367	74	0	0	2,854
11月	1,148	0	0	0	553	468	477	30	1	0	2,677
12月	1,245	0	0	3	583	666	425	13	1	0	2,936
1月	1,413	0	0	4	617	657	332	0	0	0	3,023
2月	1,256	0	0	0	498	628	324	0	0	0	2,706
3月	1,113	0	0	0	572	671	178	34	0	6	2,574
合計	14,410	0	0	27	6,299	6,322	3,611	1,200	2	6	31,877
1日平均診療日数	39	0	0	0	17	17	10	3	0	0	87

区分	外 来																計	
	内科	外科	整形外科	小児科	皮膚科	リハビリテーション科	循環器内科	神経内科	脳神経外科	消化器外科	リウマチ膠原病科	乳腺内分泌外科	代謝内科	血液・免疫内科	腫瘍内科	消化器内科		歯科口腔科
4月	1,810	0	296	322	0	0	435	220	630	95	41	24	73	9	0	0	0	3,955
5月	2,046	0	353	318	0	0	545	239	616	53	38	18	51	5	0	0	0	4,282
6月	1,949	0	315	299	0	0	507	238	695	91	41	16	111	8	0	0	0	4,270
7月	1,967	0	356	389	0	0	567	271	713	148	36	24	100	8	1	0	0	4,580
8月	2,131	0	309	424	0	0	571	296	725	139	36	17	109	9	4	0	0	4,770
9月	1,927	0	295	403	0	0	487	232	552	45	44	26	125	12	4	0	0	4,152
10月	2,165	0	340	487	0	0	638	271	660	34	46	32	109	6	5	0	0	4,793
11月	2,110	0	207	395	0	0	589	232	650	26	45	32	103	7	2	0	0	4,398
12月	1,988	0	239	397	0	0	647	248	695	42	55	28	109	10	3	3	0	4,464
1月	2,167	0	227	490	0	0	715	277	710	50	41	21	100	7	2	9	0	4,816
2月	1,724	0	281	393	0	0	541	262	719	52	51	17	101	7	2	14	28	4,192
3月	1,851	0	242	396	0	0	639	239	722	59	40	25	140	11	0	7	58	4,429
合計	23,835	0	3,460	4,713	0	0	6,881	3,025	8,087	834	514	280	1,231	99	23	33	86	53,101
1日平均診療日数	98	0	36	19	0	0	29	22	43	10	43	23	26	8	3	8	5	
	244	0	95	243	0	0	236	140	186	81	12	12	47	12	9	4	17	

(表3) 経営の状況

(単位:円:%)

区 分	28年度	29年度	30年度
総収益	2,170,219,657	2,121,384,537	2,194,717,049
(うち医業収益)	1,781,529,436	1,725,172,449	1,730,291,627
総費用	2,356,986,891	2,368,430,149	2,511,510,369
当年度純損益	△ 186,767,234	△ 247,045,612	△ 316,793,320
その他未処分利益剰余金変動額	—	—	—
当年度未処理欠損金	△ 1,554,414,238	△ 1,801,459,850	△ 2,118,253,170
単年度利益比率	△ 10.5	△ 14.3	△ 18.3
利益剰余金比率	△ 87.3	△ 104.4	△ 122.4
総収支比率	92.1	89.6	87.4

(4) 収益的収入及び支出 (平成30年4月1日～平成31年3月31日まで)

事業収益は、予算現額 2,596,446,000 円に対し、決算額 2,200,910,637 円で、執行率 84.8%となる。事業費用は、予算現額 2,596,446,000 円に対し、決算額 2,498,525,306 円で、不用額は 97,920,694 円となっている。

収 入 (消費税込み)

(単位:円)

区 分	予 算 現 額			決算額	予算額に比べて 決算額の増減	執行率	備 考 (仮受消費税)
	当初予算額	補正予算額	計				
第1款 病院事業収益	2,549,630,000	46,816,000	2,596,446,000	2,200,910,637	△ 395,535,363	84.8	6,193,588
第1項 医業収益	2,157,153,000	0	2,157,153,000	1,736,011,340	△ 421,141,660	80.5	5,719,713
第2項 医業外収益	392,427,000	46,816,000	439,243,000	447,906,427	8,663,427	102.0	473,875
第3項 特別利益	50,000	0	50,000	16,992,870	16,942,870	33,985.7	0

支 出 (消費税込み)

(単位:円)

区 分	予 算 現 額				決算額	不用額	備 考 (仮払消費税)
	当初予算額	補正	予備費支出額	計			
第1款 病院事業費用	2,549,630,000	46,816,000	0	2,596,446,000	2,498,525,306	97,920,694	47,869,633
第1項 医業費用	2,486,663,000	44,938,000	0	2,531,601,000	2,438,682,972	92,918,028	47,861,456
第2項 医業外費用	56,098,000	0	0	56,098,000	55,041,664	1,056,336	0
第3項 特別損失	1,900,000	0	2,900,670	4,800,670	4,800,670	0	8,177
第4項 予備費	4,969,000	1,878,000	△ 2,900,670	3,946,330	0	3,946,330	0

(5) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額 149,062,000 円に対し、決算額 142,062,000 円で執行率 95.3% となる。資本的支出は、予算現額 251,449,000 円に対し、決算額 233,237,250 円で、不用額は 18,211,750 円となっている。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 91,175,250 円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんされている。

収 入 (消費税込み)

(単位：円)

区 分	予 算 現 額				決 算 額	執 行 率	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考 (仮受消費税)
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	継 続 費 通 次 繰 越 額 に 係 る 財 源 充 当 額	計				
第1款 資本的収入	138,880,000	10,182,000	0	149,062,000	142,062,000	95.3	△ 7,000,000	0
第1項 企業債	111,900,000	△ 10,500,000	0	101,400,000	94,400,000	93.1	△ 7,000,000	0
第2項 他会計負担金	26,980,000	0	0	26,980,000	26,980,000	100.0	0	0
第3項 補助金	0	20,682,000	0	20,682,000	20,682,000	100.0	0	0

支 出 (消費税込み)

(単位：円)

区 分	予 算 現 額				決 算 額	継 続 費 通 次 繰 越 額	不 用 額	備 考 (仮払消費税)
	当 初 予 算 額	補 正・予 備 費	継 続 費 通 次 繰 越 額	合 計				
第1款 資本的支出	239,282,000	12,167,000	0	251,449,000	233,237,250	0	18,211,750	9,176,905
第1項 建設改良費	129,932,000	12,167,000	0	142,099,000	123,888,225	0	18,210,775	9,176,905
第2項 企業債償還金	53,960,000	0	0	53,960,000	53,959,025	0	975	0
第3項 他会計借入金償還金	55,390,000	0	0	55,390,000	55,390,000	0	0	0

(6) 企業債償還状況

(単位：円)

前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
3,146,266,454	94,400,000	53,959,025	3,186,707,429

(7) 経営の状況〔比較損益計算書〕

本年度の経営状況は、比較損益計算書のとおりで、総収入2,194,717,049円に対し、総支出2,511,510,369円で△316,793,320円が当年度純損益となっている。

収 入（消費税抜き）

（単位：円：％）

項 目	28年度	29年度(A)	30年度(B)	増減額 (C) (B) - (A)	増減率 C/A*100
1 医業収益	1,781,529,436	1,725,172,449	1,730,291,627	5,119,178	0.3
①入院収益	1,137,509,485	1,061,217,100	1,056,062,400	△ 5,154,700	△ 0.5
②外来収益	577,748,473	595,246,530	602,999,388	7,752,858	1.3
③その他医業収益	66,271,478	68,708,819	71,229,839	2,521,020	3.7
2 医業外収益	387,981,878	395,166,967	447,432,552	52,265,585	13.2
①受取利息配当金	7,863	4,471	2,576	△ 1,895	△ 42.4
②他会計負担金	249,040,000	257,485,000	304,024,000	46,539,000	18.1
③補助金	17,946,644	15,442,860	23,867,640	8,424,780	54.6
④長期前受金戻入	109,574,099	110,284,937	110,475,933	190,996	0.2
⑤その他医業外収益	11,413,272	11,949,699	9,062,403	△ 2,887,296	△ 24.2
3 特別利益	708,343	1,045,121	16,992,870	15,947,749	1,525.9
①過年度損益修正益	708,343	1,045,121	4,949,870	3,904,749	373.6
②その他特別利益	0	0	12,043,000	12,043,000	皆増
合 計	2,170,219,657	2,121,384,537	2,194,717,049	73,332,512	3.5

支 出（消費税抜き）

（単位：円：％）

項 目	28年度	29年度(A)	30年度(B)	増減額 (C) (B) - (A)	増減率 C/A*100
1 医業費用	2,251,130,653	2,263,464,182	2,390,821,516	127,357,334	5.6
① 給与費	1,270,479,208	1,279,004,512	1,351,585,723	72,581,211	5.7
② 材料費	268,491,582	255,404,479	290,121,040	34,716,561	13.6
③ 経費	392,640,951	409,012,534	429,072,826	20,060,292	4.9
④ 減価償却費	315,523,975	315,907,692	315,224,639	△ 683,053	△ 0.2
⑤ 資産減耗費	0	0	0	0	0
⑥ 研究研修費	3,994,937	4,134,965	4,817,288	682,323	16.5
2 医業外費用	105,546,880	104,144,498	115,896,360	11,751,862	11.3
① 支払利息及び 企業債取扱諸費	41,717,407	41,401,981	41,428,083	26,102	0.1
② 消費税	4,062,800	4,149,400	3,957,900	△ 191,500	△ 4.6
③ 雑支出	50,110,992	48,937,436	60,854,696	11,917,260	24.4
④ 雑損失	0	0	0	0	0
⑤繰延勘定償却	9,655,681	9,655,681	9,655,681	0	0
3 特別損失	309,358	821,469	4,792,493	3,971,024	483.4
① 過年度損益修正損	309,358	821,469	4,792,493	3,971,024	483.4
②その他特別損失	0	0	0	0	0
合 計	2,356,986,891	2,368,430,149	2,511,510,369	143,080,220	6.0

【水道課】

(1) 職員構成

課長 (1)	—	課長補佐 (1)	}	管理係	—	係長 (補佐兼務) 主任 (2)	非常勤職員 (1)
企業出納員 (1)				工務係	—	係長 (1) 主任 (2)	非常勤職員 (1)
				支所	—	内牧水道分室 主任 (2)	非常勤職員 (3)
						波野水道分室 参事 (1)	非常勤職員 (2)

水道施設の新設及び維持管理、使用水量の認定、検針、水道料金出納等の事務を本庁・各支所分室の職員（非常勤職員を含む）18人で執行しており、その事務事業は概ね適正に執行されているものと認めた。

(2) 収益的収入及び支出

事業収益は、予算現額 508,730,000 円に対し決算額 513,105,534 円で、執行率 100.9% となる。事業費用は、予算現額 499,070,000 円に対し決算額 465,080,993 円で、執行率 93.2% となっている。

収益的収入（消費税込み）

（単位：円：％）

区 分	予 算 現 額			決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	執行率	備 考 (仮払消費税)
	当初予算額	補正予算額	合計				
第1款 上水道事業収益	502,739,000	0	502,739,000	503,335,886	596,886	100.1	31,430,478
第1項 営業収益	441,560,000	0	441,560,000	443,074,846	1,514,846	100.3	31,027,434
第2項 営業外収益	61,179,000	0	61,179,000	60,261,040	△ 917,960	98.5	403,044
第2款 簡易水道事業収益	5,991,000	0	5,991,000	9,769,648	3,778,648	163.1	442,447
第1項 営業収益	1,420,000	0	1,420,000	3,704,566	2,284,566	260.9	274,141
第2項 営業外収益	4,571,000	0	4,571,000	6,065,082	1,494,082	132.7	168,306
合 計	508,730,000	0	508,730,000	513,105,534	4,375,534	100.9	31,872,925

収益的支出（消費税込み）

（単位：円：％）

区 分	予 算 現 額					決 算 額	執行率	備 考 (仮払消費税)
	当初予算額	補正額	予備費	流用	合計			
第1款 上水道事業費用	468,500,000	900,000	4,064,600	0	473,464,600	449,682,236	95.0	8,127,174
第1項 営業費用	413,630,000	900,000	0	0	414,530,000	391,414,555	94.4	8,112,593
第2項 営業外費用	49,870,000	0	4,064,600	△ 74,889	53,859,711	53,192,792	98.8	0
第3項 特別損失	5,000,000	0	0	74,889	5,074,889	5,074,889	100.0	14,581
第2款 簡易水道事業費用	24,670,000	0	0	0	24,670,000	15,398,757	62.4	573,257
第1項 営業費用	22,730,000	0	0	0	22,730,000	14,549,945	64.0	573,257
第2項 営業外費用	1,890,000	0	0	0	1,890,000	848,812	44.9	0
第3項 特別損失	50,000	0	0	0	50,000	0	0.0	0
第3款 予備費	5,000,000	0	△ 4,064,600	0	935,400	0	0.0	0
第1項 予備費	5,000,000	0	△ 4,064,600	0	935,400	0	0.0	0
合 計	498,170,000	900,000	0	0	499,070,000	465,080,993	93.2	8,700,431

(3) 資本的收入及び支出

資本的收入は、予算現額 280,971,000 円に対し決算額 31,615,200 円で執行率 11.3%となる。

資本の支出は、予算現額 625,200,000 円に対し決算額 214,058,040 円で、執行率 34.2%となる。

資本的收入（消費税込み）

（単位：円：％）

区 分	予 算 現 額			決 算 額	執 行 率 予算対比	備 考 (仮受消費税)
	当初予算額	補正額	合計			
第1款 上水道事業	277,575,000	0	277,575,000	28,357,200	10.2	491,200
第1項 企業債	200,000,000	0	200,000,000	0	0.0	0
第3項 他会計補助金	21,726,000	0	21,726,000	21,726,000	100.0	0
第4項 工事負担金	17,000,000	0	17,000,000	0	0.0	0
第5項 加入金	4,100,000	0	4,100,000	6,631,200	161.7	491,200
第8項 国庫補助金	34,749,000	0	34,749,000	0	0.0	0
第2款 簡易水道事業	3,396,000	0	3,396,000	3,258,000	95.9	0
第2項 加入金	140,000	0	140,000	0	0.0	0
第3項 他会計補助金	3,256,000	0	3,256,000	3,258,000	100.1	0
合 計	280,971,000	0	280,971,000	31,615,200	11.3	491,200

資本の支出（消費税込み）

（単位：円：％）

区 分	予 算 現 額				決 算 額	執 行 率	地公企法第26条による繰越額	備 考 (仮払消費税)
	当初予算額	補正・流用額	地公企法第26条による繰越額	合計				
第1款 上水道事業	553,500,000	0	48,000,000	601,500,000	207,627,036	34.5	345,600,000	4,228,690
第1項 建設改良費	403,120,000	0	48,000,000	451,120,000	57,367,768	12.7	345,600,000	4,228,690
第2項 企業債償還金	150,380,000	0	0	150,380,000	150,259,268	99.9	0	0
第2款 簡易水道事業	18,700,000	0	0	18,700,000	6,431,004	34.4	3,000,000	146,970
第1項 建設改良費	14,220,000	0	0	14,220,000	1,984,100	14.0	3,000,000	146,970
第2項 企業債償還金	4,480,000	0	0	4,480,000	4,446,904	99.3	0	0
第3款 予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0.0	0	0
第1項 予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0.0	0	0
合 計	577,200,000	0	48,000,000	625,200,000	214,058,040	34.2	348,600,000	4,375,660

(4) 経営の状況〔比較損益計算書〕

本年度の経営状況は、比較損益計算書のとおりで、総収入 481,436,811 円に対し、総支出 437,315,962 円で 44,120,849 円が当年度純利益となっている。

収 入 (消費税抜き)

(単位：円：%)

	平成30年度		平成29年度		対前年度比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 営業収益	415,477,837	86.3	419,858,750	86.3	△ 4,380,913	△ 1.0
①給水収益	389,235,565	80.8	396,105,584	81.4	△ 6,870,019	△ 1.7
②受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	—
③その他の営業収益	26,242,272	5.5	23,753,166	4.9	2,489,106	10.5
2 営業外収益	65,958,974	13.7	66,754,852	13.7	△ 795,878	△ 1.2
①受取利息及び配当金	337,360	0.1	418,337	0.1	△ 80,977	△ 19.4
②他会計補助金	7,064,000	1.5	7,209,000	1.5	△ 145,000	△ 2.0
③長期前受金戻入	51,108,369	10.6	43,034,797	8.8	8,073,572	18.8
④雑収益	7,449,245	1.5	8,479,718	1.7	△ 1,030,473	△ 12.2
⑤補助金	0	0.0	7,613,000	1.6	△ 7,613,000	皆減
3 特別利益	0	0.0	0	0.0	0	—
収 益 合 計	481,436,811	100.0	486,613,602	100.0	△ 5,176,791	△ 1.06

支 出 (消費税抜き)

(単位：円：%)

	平成30年度		平成29年度		対前年度比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
1 営業費用	397,278,650	90.8	408,792,443	87.4	△ 11,513,793	△ 2.8
①総係費	128,001,455	29.3	227,767,308	48.7	△ 99,765,853	△ 43.8
②減価償却費	181,496,048	41.5	178,291,785	38.1	3,204,263	1.8
③資産減耗費	42,944	0.0	2,733,350	0.6	△ 2,690,406	△ 98.4
④原水及び浄水費	51,350,422	11.7	0	0.0	51,350,422	皆増
⑤配水及び給水費	36,387,781	8.3	0	0.0	36,387,781	皆増
⑥その他営業費用	0	0.0	0	0.0	0	—
2 営業外費用	34,977,004	8.0	58,250,602	12.4	△ 23,273,598	△ 40.0
①支払利息及び企業債取扱諸費	34,977,004	8.0	38,246,800	8.2	△ 3,269,796	△ 8.5
③雑支出	0	0.0	20,003,802	4.3	△ 20,003,802	皆減
④繰延勘定償却	0	0.0	0	0.0	0	—
3 特別損失	5,060,308	1.2	872,889	0.2	4,187,419	479.7
①過年度損益修正損	5,060,308	1.2	872,889	0.2	4,187,419	479.7
費 用 合 計	437,315,962	100.0	467,915,934	100.0	△ 30,599,972	△ 6.5
当年度純利益	44,120,849		18,697,668		25,423,181	136.0

【 収入未済額調 】

(単位:円:%)

	調定年度	調定額		収納額		不納欠損額 金額(円)	収納率 (%)	未納額	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)			件数	金額(円)
過 年 度	平成9年度	9	23,594	0	0	23,594	0.0	0	0
	平成10年度	12	37,479	0	0	37,479	0.0	0	0
	平成11年度	21	103,418	0	0	103,418	0.0	0	0
	平成12年度	46	115,213	0	0	94,719	0.0	3	20,494
	平成13年度	48	149,303	0	0	51,498	0.0	15	97,805
	平成14年度	52	236,215	0	0	66,635	0.0	22	169,580
	平成15年度	72	331,099	1	2,340	253,159	0.7	12	75,600
	平成16年度	169	604,384	1	660	442,605	0.1	28	161,119
	平成17年度	295	934,375	11	30,928	607,330	3.3	54	296,117
	平成18年度	374	1,457,616	18	59,139	1,072,019	4.1	67	326,458
	平成19年度	331	1,119,982	39	93,746	669,026	8.4	79	357,210
	平成20年度	132	2,176,993	2	30,000	171,596	1.4	58	1,975,397
	平成21年度	179	2,804,151	11	12,654	172,843	0.5	63	2,618,654
	平成22年度	198	2,995,771	23	25,236	584,248	0.8	74	2,386,287
	平成23年度	157	1,178,405	7	7,127	271,316	0.6	44	899,962
	平成24年度	57	281,523	3	4,608	235,774	1.6	14	41,141
	平成25年度	109	290,781	2	1,260	20,799	0.4	92	268,722
	平成26年度	102	235,815	4	4,888	0	2.1	100	230,927
	平成27年度	231	855,313	43	67,852	0	7.9	199	787,461
	平成28年度	293	1,555,672	93	343,233	0	22.1	223	1,212,439
平成29年度	12,002	44,744,214	11,903	43,240,416	0	96.6	261	1,503,798	
過年度計	14,889	62,231,316	12,161	43,924,087	4,878,058	70.6	1,408	13,429,171	
現年度計	119,548	420,339,116	107,524	380,704,386	0	90.6	12,313	39,634,730	
合計	134,437	482,570,432	119,685	424,628,473	4,878,058	88.0	13,721	53,063,901	

※平成31年3月末現在 (3月分の水道料金は未納となる)

【講評・所感】

《阿蘇医療センター》

例年、心を痛めている損失が平成31年3月31日に於いても316,793,320円の赤字決算となった。

監査委員の心情としては、利益を追求する公営企業とはいえ市民の健康と生命を大事に守って頂くのであれば敢えて、早急な黒字化を求める事に今迄は消極的であった。

最低限、一般会計からの経費負担額（地公企法第17条の2）さえなくなればそれで良いのではないかと云うのが、当面の願いであったのだが、当期の316,793千円の赤字の中には医業外収益として304,024千円の負担金が含まれる事から、実質620,817千円の損失となり、全収入2,194,717千円の28%強の損失割合である。やはり全支出の54%弱を占める給与費（前期比72,581千円の増）が大きく影響しているは論をまたない。

かつて新規開業時の例月出納検査で非常勤医師の手取り方式の給与について、グロス契約（税込）とネット契約（税会社負担）の是非について論じた処であるが、新設の医療センターが優秀な医師を招聘する経費であるならばとの想いで以後、気持をおさえてきた。

然しながら給与は別途、恩給原資の追加費用として算定されるので、赤字体質の企業には非常に厳しい現実である。

一刻も早く負担金に頼らない経営を目指さなければ、議会での支援も最早これまでとなりかねない瀬戸際である。

《水道課》

人類が生存出来る最大の要因は酸素と水の存在である。

あの熊本地震の際は、電気、水道のインフラ整備が混乱し大変な思いをしたものである。折りしも自治体の水道事業が民営化されると云うニュースも巷に流れた。

然しながら隅々迄メンテナンスを始めとする諸手当が可能なのは、やはり公営でなければならぬであろう。

尤も各自治体が不可視部分である埋設された老朽管の不透明な存在に、一抹の不安をかかえているのは紛れのない事実ではあるが・・・。

ともかく今回の定期監査では、44,120千円の純益を計上できた。昨年度に比較し136%の増である。突発的なアクシデントに遭遇しても留保資金で補充が出来る様、祈るばかりである。